

行政評価（外部評価）結果総括表

＜令和2年度実施計画分＞

令和3年7月

行政評価（外部評価）結果総括表（令和2年度実施計画）

第1節 「集まる」まちをつくる（ひとづくり）

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
女性が輝く社会づくり (1-2)	概ね順調	<p>女性が輝くために最も必要なことは、女性の仕事に対する男性の理解と女性本人の意識の改革、そして家庭と経済的安定からもたらされる精神面での安定である。そのために重要なのは、子育ての負担の軽減と分担といった子育て環境の充実、また職・収入の安定である。これらへ行政が支援を拡大することで、政策の実現につながると考えられる。</p> <p>なお、男女共同参画意識の醸成は女性の能力が発揮され住みよい社会づくりのため継続して取り組みを進めていく必要がある。</p>	1. 男女共同参画意識の醸成	75.0	男女共同参画の推進は、国連サミットにおいて採択された国際社会全体の共通目標であるSDGsの一つであり、各都道府県市町村でも目標としての重要な取り組みであることから積極的な推進が望まれる。施策は、全般的に概ね順調と言えるが、事務事業との適合性や効率性に課題が残る。パープルリボン運動や男女共同参画講座の開催など継続的な事業展開とともに、会議や委員会の開催だけでなく男女共同参画意識の醸成につながる具体的な取り組みを実施されたい。
			2. 女性の能力が発揮しやすい環境の整備	87.5	女性農業者支援事業は、成果指標としての累計認定件数は目標値に届いていないものの、本町独自の制度として制度が確立している。施策は、町民ニーズも反映されており、事務事業の内容が具体的で分かりやすく施策との整合性も取れていることから全般的に概ね順調と言える。今後は、財源確保及び移住・定住推進事業との連携など更なる事業推進に期待したい。
			3. 女性が安心して暮らせる環境の整備	81.3	施策は、全般的に概ね順調と言え、特に町民ニーズを反映し改善に取り組んだ子育て支援センター開所日の拡大は大いに評価できる。しかし、効率性に関してはやや課題残り、参加者が少ない事業については情報発信等改善に取り組む必要がある。
					<p>なお、成人に対する虐待対策、DV対策事業の成果指標の設定については、相談件数だけでなく解決・未解決件数など分けて記載する見直しが必要である。また、各事務事業の実績についても、より具体的な内容を記載するなど工夫するとともに原因分析に努められたい。今後とも、町民のニーズに合う事業の見直しを図りながら事業の充実を図られたい。</p>

第2節 「楽しい」まちをつくる(ちいきづくり)

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
時代に応じた都市機能づくり (2-3)	やや課題あり	<p>政策と施策の構成や内容の有効性及び改善策については整合性が認められるが、事務事業において課題が散見される。</p> <p>メディカルタウン整備事業は全体構想が明確に示されており、事業も進展しているが、具体的な実施計画において遅れが見受けられることから適正な進捗管理を図られたい。また、中心市街地活性化に関しては、その必要性は認められるが、具体的な事業内容について住民の真のニーズが反映されているか疑問である。行政主導だけでなく、住民が主体となり議論を進め、事業展開が図られるよう取り組み方法の再考も視野に入れ検討を図られたい。</p>	1. 医療、住宅、商業が融合したまちづくりの推進	68.8	<p>メディカルタウン整備は今後のまちづくりにおいて有効であり、事業開始の道筋ができたことは一定程度評価できるが、全体計画が明確化されないまま事業に着手されており、今後の効果的な進捗管理に疑問が残る。スーパーマーケットの進出のみでは各種事業者誘致のインセンティブとしては弱く、具体的な全体計画の明確化が急務であると思われる。</p>
			2. 中心市街地の活性化	56.3	<p>中心市街地活性化に向け、公園等のハード整備や商工会や駅の地域活動活性化に資する事業への助成は一定程度評価できるが、活性化とは何を指すのか、賑わいとは何かといった概念が曖昧であり、地域住民の意識や考えも統一されていない状況であると推察される。庁舎跡地利活用に係る事業の進捗が滞っているように思われることから、町民ニーズ等の十分な把握を行い今後の施策を検討していただきたい。</p>

第3節 「挑戦する」まちをつくる（しごとづくり）

政策名	評価結果	最終評価意見	施策名	評価点数	評価の理由
多様な仕事を生み出す戦略づくり (3-3)	やや課題あり	施策4項目とも概ね推進されているが、コロナ禍の有事状況下においても新しい生活様式や、社会・経済システム等に対応した高度な取り組みを実施願いたい。	1. 企業誘致の促進	68.8	<p>新型コロナウイルス感染症対策で事業執行に苦慮されているが、変化に対応した明確な誘致戦略を地道に努力していただきたい。</p> <p>メディカルタウンに関しては、メディア等でも報道され、町民だけでなく県全体でも注目されており政策実現に大きく貢献し評価できる。</p> <p>しかし、尾長島工業団地内未利用地の有効活用については進展が見られず、コロナ禍による活動の制限は理解できるが、コロナ禍に対応した取り組みを進めていただきたい。</p> <p>また、企業支援についてはスピード感をもって対応することで、事業者に対する経営安定支援を図っていただきたい。</p>
			2. 起業者の発掘・育成	56.3	<p>置賜農業高等学校連携事業の増額を検討し支援強化を図っていただきたい。</p> <p>6次産業化推進事業の中心を担うのが「かわにし森のマルシェ」であり、出荷登録者及び出荷品目の増加や、売上高、集客数が前年度を上回っていることは評価できるが、知名度が高くないと思われることからPR方法を検討し、町民所得への更なる貢献を期待したい。</p> <p>また、6次産業化工房整備事業については、加工ありきの方法ではなく、商品の売上増を実感してもらえる取り組みを実施願いたい。</p> <p>創業支援事業については、川西町創業支援等事業計画の取り組みを強化し専門的に取り組んでいただきたい。</p>
			3. 産学官金労言連携の促進	75.0	<p>コロナ禍により未実施となった事業内容もあるが、概ね順調に進められた。</p> <p>置賜農業高等学校連携事業については、生徒と先生の信頼関係や連携の様子が活動に現れていると感じられる。先進事例を参考にするなどし、今以上に輝けるよう今後の支援体制に期待したい。</p>
			4. 再生可能エネルギーの利活用	56.3	<p>再生可能エネルギーについて不明なことが多い。町民に対して、低炭素社会形成の必要性や重要性をわかりやすく伝えることが必要と考えられる。</p> <p>また、再生可能エネルギー利活用の推進及び研究が不足しており、情報収集がどの程度行われたのかわからない。広い分野だけではなく的を絞った検討等、多方面からの調査検討を進めていただきたい。</p>

主要プロジェクト

主要プロジェクト名	評価点数	評価の理由
1. 地域経済活性化プロジェクト	62.5	<p>主要プロジェクトと事務事業の整合性及び構成事業との連携性については、概ね適当であると認められる。特に、プロジェクトの構成については本町の特徴を見極めた内容となっており、企業誘致支援事業としてメディカルタウン整備を図るなど、企業誘致や定住促進に効果が期待できることから一定程度評価できる。</p> <p>しかしながら、町民との連携・協働や効率性の面ではやや課題が残る。置賜農業高等学校連携推進事業については、情報交換の機会をもっと増やすべきであり、地産地消の加速化のためには町内施設やイベントでの開催について情報発信を強化する必要がある。また、創業支援においても、行政の積極的な働きかけが不可欠である。</p> <p>庁内の連携や町民との連携・協働は目に見えにくいのが、町民に事業内容が認知されていることが連携における大前提である。ITを活用しながら効率的に事業の推進を図られたい。</p> <p>なお、女性農業者支援事業は地域経済の活性化につながる可能性を有しており、本プロジェクトを構成する事務事業に加えることも検討されたい。</p>
2. 移住・定住促進プロジェクト	75.0	<p>メディカルタウン整備事業や各種住宅支援事業については、ニーズを捉えて移住・定住の増加が期待される。</p> <p>空家対策事業は、防犯、景観、環境、建物の有効利用等の面からも力を入れていただきたい。</p> <p>冬期交通確保事業等については、除排雪重機械及びオペレーターの不足は困難な課題であるが、本町においては必要不可欠な事業であることから至急対策を講じていただきたい。</p> <p>今後についても、移住・定住につながる雇用を生み出す産業振興について、民間投資も活用した積極的な取組を推進する必要がある。</p>
3. 生涯現役プロジェクト	75.0	<p>生涯にわたり心身ともに健康で自立した生活を送ることができるよう、スポーツや健診等を通じた健康増進に係る事業、学習機会の提供や芸術文化の振興事業など、各分野にわたり目的達成に向けた事業展開が図られており、事務事業の適合性や連携に関してはおおむね適切であると評価できる。各課の連携性を高め、事業のバリエーションを増やす等、事業推進を図られたい。</p> <p>一方で、生涯を通して健康で心豊かに充実した生活を保つためには、社会に喜びをもって参加し役割を果たす社会参画が重要であることから、行政主導だけではなく、住民の自発的、自主的な活動を促す方策の検討に努められたい。</p>
4. 女性にやさしいまちづくりプロジェクト	75.0	<p>事業によって、町民への浸透が欠けていたり、事業内容のグレードアップが必要と考えられるものが見受けられる。</p> <p>国や県、関係機関等と協力する事業が多いように思われるため、国や県の財政的負担拡充に向けた働きかけの維持及び一層の連携強化を図っていただきたい。</p> <p>妊娠・出産等で一時的に社会的弱者となりうる女性に対し、継続的な支援を行っていくことを期待する一方で、「パパと子」の子育て応援機関の展開や、ジェンダーレス時代における適切なプロジェクトの実施を求める。</p>

「川西町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における数値目標及び重要業績評価指数（KPI）の進捗状況

プロジェクト名	評価結果	評価の理由
1. 地域経済活性化プロジェクト	やや課題あり	<p>目標を達成している事業もあり、コロナ禍の中では概ね順調と評価できる。しかしながら、実績において数値の低迷や値の低い目標も見受けられる。対策が不十分であると考えられることから、達成のために効果的な取り組みを実施されたい。</p>
2. 移住・定住促進プロジェクト	やや課題あり	<p>KPIに対しては達成できている項目が多いが、全体としては転出転入者共に目標を下回り人口が減少傾向にあることから、取組内容を含めて検討していただきたい。 また、婚姻数やライフデザイナーによる成婚数は目標より大きく下回っており、事業の進め方や指標の改訂・追加が必要と思われる。</p>
3. 女性が活躍するまちづくりプロジェクト	やや課題あり	<p>コロナ禍の影響を受けている数値目標もあり評価しにくい、具体性に欠けるため課題がある。</p>
4. 生涯現役プロジェクト	やや課題あり	<p>コロナ禍の中、目標達成は難しい部分もあると思うが、数値的には妥当と考える。ただし、指標の設定に関しては再考の必要性を感じる。</p>